〇のののをする

1019

は、がをし、のを、なをためのである。

のは、がをでことができないものであり、かつ、ととがにためになものである。しかしながら、のをは、になのがでを、をためのがでなをがあり、にながなされているといえないものとなっている。これらのをことは、なである。

のは、ひとりののにそのによりである。のににおいて、とは、、の、、を、、しやすいに、、な、のなの、（しやすいを。）をいい、とは、ののをいうと、についてもであるとにいる。また、においては、は、な、（を。）ののためのについてののがされるとともに、のはのためのについてのののがことをとして、のが、のによってことなく、にとをするのがならないとされるとともに、がであるといる。

、、、、、、なは、がをでことのできないの得びのためのである。しかし、これまでのになののためのをすることができるは、におらず、は、はをしてきた。このようなをし、のがにおいてにをすることができ、なをことができるをすることがである。

は、へのをし、をとするなのためののしやすいをすることにより、のをし、のが、にひとりのをするをするため、このをする。

（）

　このは、のに（）のを、がであることののにがをし、コミュニケーションをしてするのに、を、のにのをにするとともに、にへのをし、するための、がをしやすく、をしやすいをするためのをするためのをことにより、これらのをかつにし、もってのがにを、もがしてをすることをとする。

（）

　このにおいて、のにのは、にところによる。

⑴　　、、（を。）、、ののの（「」とする。）があるであって、は（にするをいう。）によりに、はにはになをにあるものをいう。

⑵　ろう　をとしてはををいう。

⑶　　がにをし、をし、やをことをいう。

⑷　　、、、、、、、、な、、、、、、ののがのをになをいう。

⑸　　、、、、ろう・のをしてのコミュニケーションをするをいう。

⑹　　がのとのをすることをするためにかつなはであって、にがでないものをいう。

（）

　がであることののは、がのをであり、かつ、ろうがでなをためにきたものであるとのをならない。

２　がをし、をしてするをすることは、それがにとってをでであるとののの、のがにをことをとしてならない。

（の）

　は、にに、へののをとともに、のののにをかつにするものとする。

（の）

　は、がであるとされていることにがをし、をしてするをすることが、のにとってであることをし、ののにするようものとする。

（の）

　は、がであるとされていることにがをし、をしてするをすることが、のにとってであることをし、としてがなをすることができるよう、にをとともに、ののにするようものとする。

（への）

　、は、をし、はにするが、をしやすく、をしてしやすいのをようものとする。

（の）

　は、ににをするための（「」という。）をものとする。

⑴　へののに

⑵　がをしやすく、をしてしやすいのに

⑶　のに

⑷　にもののほか、のをするためにな

２　は、が（にするをいう。）、（のをにするための（）にするをいう。）のためのにとのとれたものでなければならない。

（の）

　は、をし、はするはののをするためにがあるは、、をののをものとする。

（をの）

　は、、、のにをとして、がへのを、をことのできるをするようものとする。

２　は、がへのを、はをためのをするにおいては、のをするものとする。

（による）

　は、がにをのとのにおいてすることができるよう、をしたをするものとする。

（における）

　は、において、へののののためのにものとする。

（におけるへのの）

　は、へののをため、の・におけるへののにのにものとする。

２　ののにをするは、へのにのにものとする。

（）

　こののになは、が。

このは、からする。